

第40回定時社員総会

日 時 平成30年 6月 26日

16:00～17:30

場 所 砂防会館別館 六甲会議室

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

第40回 定時社員総会 次第

日 時 平成30年6月26日（火）
16:00～17:30
場 所 砂防会館別館 六甲会議室

開 会

1. 挨拶

2. 議 事

第1号議案 平成29年度収支決算承認の件

第2号議案 役員選任の件

(報告事項)

第1号報告 平成29年度事業報告について

第2号報告 平成30年度事業計画及び収支予算書について

閉 会

目 次

第1号議案	平成29年度収支決算承認の件	1
(1)	貸借対照表	2
(2)	正味財産増減計算書	4
(3)	財産目録	8
(4)	収支計算書	9
	監査報告書	11
<参考>		
	公益目的支出計画の実施完了の確認書	12
第2号議案	役員選任の件	13
(報告事項)		
第1号報告	平成29年度事業報告について	15
第2号報告	平成30年度事業計画及び収支予算書について	
		23

第 1 号議案 平成 2 9 年度収支決算承認の件

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	7,849,549	20,340,475	28,190,024
前払金	16,201	0	16,201
未収金	112,160	0	112,160
商品	2,516,285	0	2,516,285
立替金	3,392	20,300	23,692
流動資産合計	10,497,587	20,360,775	30,858,362
2 固定資産			
(1)特定資産			
①登録試験事業積立資産	0	0	0
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0
③出版事業積立資産	0	0	0
④職員退職積立金	2,171,780	2,254,053	4,425,833
⑤運営資金積立金	0	15,295,978	15,295,978
特定資産合計	2,171,780	17,550,031	19,721,811
(2)その他固定資産			
什器備品	1	0	1
電話加入権	6,000	0	6,000
敷金	2,468,360	240,000	2,708,360
その他固定資産合計	2,474,361	240,000	2,714,361
固定資産合計	4,646,141	17,790,031	22,436,172
資産合計	15,143,728	38,150,806	53,294,534
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	818,418	1,836	820,254
前受金	0	180,000	180,000
預り金	392,840	0	392,840
流動負債合計	1,211,258	181,836	1,393,094
2 固定負債			
退職給与引当金	2,171,780	2,254,053	4,425,833
固定負債合計	2,171,780	2,254,053	4,425,833
負債合計	3,383,038	2,435,889	5,818,927
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	11,760,690	35,714,917	47,475,607
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	11,760,690	35,714,917	47,475,607
負債及び正味財産合計	15,143,728	38,150,806	53,294,534

貸借対照表（前年度との比較）

本部と支部の合計値

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	28,190,024	25,701,725	2,488,299
前払金	16,201	89,181	△ 72,980
未収金	112,160	468,830	△ 356,670
商品	2,516,285	7,688,820	△ 5,172,535
立替金	23,692	9,154	14,538
流動資産合計	30,858,362	33,957,710	△ 3,099,348
2 固定資産			
(1) 特定資産			
①登録試験事業積立資産	0	0	0
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0
③出版事業積立資産	0	0	0
④職員退職積立金	4,425,833	3,849,501	576,332
⑤運営資金積立金	15,295,978	15,293,430	2,548
特定資産合計	19,721,811	19,142,931	578,880
(2) その他固定資産			0
什器備品	1	1	0
電話加入権	6,000	6,000	0
敷金	2,708,360	2,708,360	0
その他固定資産合計	2,714,361	2,714,361	0
固定資産合計	22,436,172	21,857,292	578,880
資産合計	53,294,534	55,815,002	△ 2,520,468
II 負債の部			0
1 流動負債			0
未払金	820,254	3,154,896	△ 2,334,642
前受金	180,000	266,240	△ 86,240
預り金	392,840	245,000	147,840
流動負債合計	1,393,094	3,666,136	△ 2,273,042
2 固定負債			0
退職給与引当金	4,425,833	4,115,660	310,173
固定負債合計	4,425,833	4,115,660	310,173
負債合計	5,818,927	7,781,796	△ 1,962,869
III 正味財産の部			0
1 指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			0
一般正味財産合計	47,475,607	48,033,206	△ 557,599
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	47,475,607	48,033,206	△ 557,599
負債及び正味財産合計	53,294,534	55,815,002	△ 2,520,468

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金収益	(1,000,000)	(100,000)	(1,100,000)
本部入会金	1,000,000	0	1,000,000
支部入会金	0	100,000	100,000
② 会費収益	(33,660,000)	(34,904,000)	(68,564,000)
正会員会費	31,860,000	0	31,860,000
賛助会員会費	1,800,000	0	1,800,000
支部基本会費	0	16,020,000	16,020,000
支部規模別等会費	0	18,130,000	18,130,000
特別会費	0	754,000	754,000
③ 事業収益	(29,163,390)	(5,224,735)	(34,388,125)
印刷物頒布収益	10,257,390	37,800	10,295,190
試験等事業収益	17,482,000	186,935	17,668,935
技術フォーラム参加収益	1,424,000	900,000	2,324,000
業務受託収益	0	4,100,000	4,100,000
④ 雑収益	(828,780)	(3,676,171)	(4,504,951)
受取利息	100	3,149	3,249
広告収益	0	115,000	115,000
その他収益	828,680	3,558,022	4,386,702
⑤ 内部取引	0	0	0
本部入会金	0	0	0
正会員会費	0	0	0
印刷物頒布収益	0	0	0
試験等事業収益	0	0	0
技術フォーラム参加収益	0	0	0
その他収益	0	0	0
経常収益計	64,652,170	43,904,906	108,557,076
(2) 経常費用			
① 事業費	(46,578,224)	(13,096,711)	(59,674,935)
期首商品棚卸高	7,688,820	0	7,688,820
期末商品棚卸高	△ 2,516,285	0	△ 2,516,285
技術開発研究費	559,088	7,256,718	7,815,806
職員給与	0	5,056,103	5,056,103
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	474,120	284,771	758,891
通信運搬費	0	41,620	41,620
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	417,799	417,799
会場借上等費	0	1,263,530	1,263,530
諸謝金	0	158,000	158,000
雑費	84,968	34,895	119,863
試験等事業費	16,620,840	655,711	17,276,551
職員給与	6,645,395	0	6,645,395
退職金	0	0	0
福利厚生費	974,463	0	974,463
旅費交通費	1,657,220	253,590	1,910,810
通信運搬費	581,993	0	581,993
消耗品費	47,355	0	47,355
印刷製本費	1,743,488	7,560	1,751,048
会場借上等費	2,289,430	71,330	2,360,760
諸謝金	2,565,000	234,929	2,799,929
雑費	116,496	88,302	204,798
技術フォーラム事業費	7,207,844	918,271	8,126,115
職員給与	1,981,140	0	1,981,140
退職金	0	0	0
福利厚生費	285,635	0	285,635
旅費交通費	879,140	160,520	1,039,660
通信運搬費	40,775	0	40,775
消耗品費	5,155	0	5,155
印刷製本費	1,188,000	0	1,188,000
会場借上等費	2,626,311	742,751	3,369,062
諸謝金	35,000	0	35,000
雑費	166,688	15,000	181,688
出版事業費	12,086,640	692,576	12,779,216
職員給与	1,440,480	0	1,440,480
退職金	0	0	0

科	目	本部	支部	合計
	福利厚生費	210,724	0	210,724
	旅費交通費	1,792,700	14,000	1,806,700
	通信運搬費	694,256	0	694,256
	消耗品費	29,120	0	29,120
	印刷製本費	6,607,353	493,884	7,101,237
	印刷物購入費		32,400	32,400
	会場借上費	189,960	106,292	296,252
	諸謝金	942,400	46,000	988,400
	雑費	179,647	0	179,647
	広報活動費	968,877	1,800,715	2,769,592
	職員給与	0	676,912	676,912
	退職金		0	0
	福利厚生費		0	0
	旅費交通費	375,520	873,823	1,249,343
	通信運搬費	51,250	0	51,250
	消耗品費		0	0
	印刷製本費	451,305	152,160	603,465
	会場借上費	90,802	67,820	158,622
	諸謝金	0	30,000	30,000
	雑費		0	0
	賃借料		0	0
	広告宣伝費	402,400	500,720	903,120
	協賛金	1,160,000	572,000	1,732,000
	助成金	2,400,000	700,000	3,100,000
②	管理費	(17,668,395)	(32,049,893)	(49,718,288)
	職員給与	4,067,420	6,861,750	10,929,170
	臨時雇用賃金		0	0
	役員退任慰労金		0	0
	退職給与引当金	285,841	302,880	588,721
	福利厚生費	759,264	1,091,285	1,850,549
	委託費	740,475	5,260,000	6,000,475
	会議費	2,966,272	6,302,358	9,268,630
	旅費交通費	554,550	3,103,718	3,658,268
	通信運搬費	455,106	1,256,915	1,712,021
	消耗品費	361,082	596,765	957,847
	消耗什器備品費		289,086	289,086
	保守費（IT関係）	878,904	0	878,904
	印刷製本費	253,292	357,149	610,441
	水道光熱費	445,347	0	445,347
	諸謝金	324,000	1,400,000	1,724,000
	賃借料	4,770,990	3,070,163	7,841,153
	租税公課	70,000	81,000	151,000
	諸会費	90,500	319,500	410,000
	交際費		0	0
	雑費	645,352	1,757,324	2,402,676
③	内部取引	(0)	(0)	(0)
	本部入会金		0	0
	正会員会費		0	0
	印刷物頒布費		0	0
	試験事業費		0	0
	技術フォーラム事業費		0	0
	その他費用		0	0
	経常費用計	64,246,619	45,146,604	109,393,223
	当期経常増減額	405,551	△ 1,241,698	△ 836,147
2	経常外増減の部			
(1)	経常外収益	276,000	302,880	578,880
	経常外収益計	276,000	302,880	578,880
(2)	経常外費用			0
	前期損益修正損	0	0	0
	電話加入権評価損	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	276,000	302,880	578,880
	当期一般正味財産増減額	681,551	△ 938,818	△ 257,267
	一般正味財産期首残高	11,079,139	36,653,735	47,732,874
	一般正味財産期末残高	11,760,690	35,714,917	47,475,607
II	正味財産期末残高	11,760,690	35,714,917	47,475,607

正味財産増減計算書（前年度との比較）

本部と支部の合計値

（単位：円）

科	目	当年度	前年度	増減
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
(1)	経常収益			
①	入会金収益	(1,100,000)	640,000)	460,000)
②	会費収益	(68,564,000)	65,599,000)	2,965,000)
③	事業収益	(34,388,125)	36,077,090)	△ 1,688,965)
	印刷物頒布収益	10,295,190	9,804,090	491,100
	試験等事業収益	17,668,935	20,033,000	△ 2,364,065
	技術フォーラム参加収益	2,324,000	2,140,000	184,000
	業務受託収益	4,100,000	4,100,000	0
④	雑収益	(4,504,951)	3,617,926)	887,025)
	経常収益計	108,557,076	105,934,016	2,623,060
(2)	経常費用			
①	事業費	(59,674,935)	58,697,500)	977,435)
	期首商品棚卸高	7,688,820	1,729,220	5,959,600
	期末商品棚卸高	△ 2,516,285	△ 7,688,820	5,172,535
	技術開発研究費	7,815,806	12,454,950	△ 4,639,144
	試験等事業費	17,276,551	17,171,873	104,678
	技術フォーラム事業費	8,126,115	7,674,672	451,443
	出版事業費	12,779,216	17,325,462	△ 4,546,246
	広報活動費	2,769,592	5,410,466	△ 2,640,874
	賃借料	0	0	0
	広告宣伝費	903,120	930,024	△ 26,904
	協賛金	1,732,000	1,689,653	42,347
	助成金	3,100,000	2,000,000	1,100,000
②	管理費	(49,718,288)	48,475,029)	1,243,259)
	職員給与	10,929,170	10,686,010	243,160
	臨時雇用賃金	0	0	0
	役員退任慰労金	0	0	0
	退職給与引当金	588,721	576,281	12,440
	福利厚生費	1,850,549	1,720,749	129,800
	委託費	6,000,475	5,284,000	716,475
	会議費	9,268,630	9,991,388	△ 722,758
	旅費交通費	3,658,268	3,683,377	△ 25,109
	通信運搬費	1,712,021	1,675,467	36,554
	消耗品費	957,847	1,010,856	△ 53,009
	消耗什器備品費	289,086	0	289,086
	保守費（I T関係）	878,904	549,504	329,400
	印刷製本費	610,441	1,103,664	△ 493,223
	水道光熱費	445,347	448,486	△ 3,139
	諸謝金	1,724,000	1,724,000	0
	賃借料	7,841,153	8,067,213	△ 226,060
	租税公課	151,000	160,200	△ 9,200
	諸会費	410,000	409,500	500
	交際費	0	3,240	△ 3,240
	雑費	2,402,676	1,381,094	1,021,582
	経常費用計	109,393,223	107,172,529	2,220,694
	当期経常増減額	△ 836,147	△ 1,238,513	402,366
2	経常外増減の部			
(1)	経常外収益	578,880	576,281	2,599
	経常外収益計	578,880	576,281	2,599
(2)	経常外費用	0	0	0
	前期損益修正損	0	0	0
	電話加入権評価損	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	578,880	576,281	2,599
	当期一般正味財産増減額	△ 257,267	△ 662,232	404,965
	一般正味財産期首残高	47,732,874	48,695,438	△ 962,564
	一般正味財産期末残高	47,475,607	48,033,206	△ 557,599
II	正味財産期末残高	47,475,607	48,033,206	△ 557,599

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

平成25年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

事業年度末日における退職給付見込み額を簡便法に基づき計上している。

(4)消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	0	0	0
技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	0
出版事業積立資産	0	0	0	0
職員退職積立金	3,849,501	576,332	0	4,425,833
運営資金積立金	15,293,430	2,548	0	15,295,978
小 計	19,142,931	578,880	0	19,721,811
合 計	19,142,931	578,880	0	19,721,811

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	(0)	(0)	(-)
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
技術フォーラム事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
出版事業積立資産	0	(0)	(0)	(-)
職員退職積立金	4,425,833	(0)	(0)	(4,425,833)
運営資金積立金	15,295,978	(0)	(15,295,978)	(-)
小 計	19,721,811	(0)	(15,295,978)	(4,425,833)
合 計	19,721,811	(0)	(15,295,978)	(4,425,833)

財 産 目 録
平成30年3月31日現在

(単位/円)

科 目	本部		支部		合計	
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	159,034		1,187,514		1,346,548	
郵便振替口座						
東京貯金事務センター	601,434				601,434	
普通預金						
みずほ銀行新橋支店（本部）	5,278,487				5,278,487	
三井住友銀行日比谷通支店（本部）	1,810,594				1,810,594	
北洋銀行南口支店（北海道）			5,365,406		5,365,406	
七十七銀行仙台東口支店（東北）			681,690		681,690	
第四銀行白山支店（新潟）			1,672,578		1,672,578	
富山銀行諏訪川原支店（富山）			627,370		627,370	
北國銀行 大徳支店（石川）			672,091		672,091	
八十二銀行風間支店（長野）			0		0	
静岡信用金庫城北支店（静岡）			695,145		695,145	
三菱東京UFJ銀行新橋支店（東海）			395,549		395,549	
三菱東京UFJ銀行新橋支店（関西）			794,795		794,795	
山陰合同銀行島大前支店（中国）			3,511,080		3,511,080	
百十四銀行東支店（四国）			1,272,210		1,272,210	
福岡銀行博多駅東支店（九州）			1,761,067		1,761,067	
三菱東京UFJ銀行新橋支店（関東）			1,703,980		1,703,980	
定期預金						
三菱東京UFJ銀行新橋支店			0		0	
前払金	16,201		0		16,201	
未収金	112,160		0		112,160	
商品	2,516,285		0		2,516,285	
立替金	3,392		20,300		23,692	
流動資産合計		10,497,587		20,360,775		30,858,362
2 固定資産						
（1） 特定資産						
登録試験事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店						
技術フォーラム事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店						
出版事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店						
職員退職給与積立金						
勤労者退職金共済機構	2,171,780				2,171,780	
富山銀行諏訪川原支店（定期預金）			2,254,053		2,254,053	
運営資金積立金						
普通預金						
富山銀行諏訪川原支店			262,709		262,709	
四国銀行 高松支店						
定期預金						
第四銀行白山支店						
富山銀行諏訪川原支店			15,033,269		15,033,269	
基本財産合計	2,171,780		17,550,031		19,721,811	
（2） その他の固定資産						
什器備品	1				1	
電話加入権	6,000				6,000	
敷金	2,468,360		240,000		2,708,360	
その他の固定資産合計	2,474,361		240,000		2,714,361	
固定資産合計		4,646,141		17,790,031		22,436,172
資産合計			15,143,728	38,150,806		53,294,534
II 負債の部						
1 流動負債						
未払金	818,418		1,836		820,254	
前受金			180,000		180,000	
預り金	392,840				392,840	
流動負債合計		1,211,258		181,836		1,393,094
2 固定負債						
退職給与引当金	2,171,780		2,254,053		4,425,833	
固定負債合計		2,171,780		2,254,053		4,425,833
負債合計			3,383,038	2,435,889		5,818,927
正味財産			11,760,690	35,714,917		47,475,607

収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科	目	本部	支部	合計
I	事業活動収支の部			
1	事業活動収入			
(1)	経常収益			
①	入会金収入	(1,000,000)	(100,000)	(1,100,000)
②	会費収入	(33,660,000)	(34,904,000)	(68,564,000)
③	事業収入	(29,163,390)	(5,224,735)	(34,388,125)
	印刷物頒布収入	10,257,390	37,800	10,295,190
	試験等事業収入	17,482,000	186,935	17,668,935
	技術フォーラム参加収入	1,424,000	900,000	2,324,000
	業務受託収入	0	4,100,000	4,100,000
④	雑収入	(828,780)	(3,676,171)	(4,504,951)
	受取利息	100	3,149	3,249
	広告収入	0	115,000	115,000
	雑 入	828,680	3,558,022	4,386,702
	内部取引	0	0	0
	事業活動収入計	64,652,170	43,904,906	108,557,076
2	事業活動支出			
①	事業費支出	(41,405,689)	(13,096,711)	(54,502,400)
	技術開発研究費	559,088	7,256,718	7,815,806
	職員給与	0	5,056,103	5,056,103
	退職金	0	0	0
	福利厚生費	0	0	0
	旅費交通費	474,120	284,771	758,891
	通信運搬費	0	41,620	41,620
	消耗品費	0	0	0
	印刷製本費	0	417,799	417,799
	会場借上等費	0	1,263,530	1,263,530
	諸謝金	0	158,000	158,000
	雑費	84,968	34,895	119,863
	試験等事業費	16,620,840	655,711	17,276,551
	職員給与	6,645,395	0	6,645,395
	退職金	0	0	0
	福利厚生費	974,463	0	974,463
	旅費交通費	1,657,220	253,590	1,910,810
	通信運搬費	581,993	0	581,993
	消耗品費	47,355	0	47,355
	印刷製本費	1,743,488	7,560	1,751,048
	会場借上等費	2,289,430	71,330	2,360,760
	諸謝金	2,565,000	234,929	2,799,929
	雑費	116,496	88,302	204,798
	技術フォーラム事業費	7,207,844	918,271	8,126,115
	職員給与	1,981,140	0	1,981,140
	退職金	0	0	0
	福利厚生費	285,635	0	285,635
	旅費交通費	879,140	160,520	1,039,660
	通信運搬費	40,775	0	40,775
	消耗品費	5,155	0	5,155
	印刷製本費	1,188,000	0	1,188,000
	会場借上等費	2,626,311	742,751	3,369,062
	諸謝金	35,000	0	35,000
	雑費	166,688	15,000	181,688
	出版事業費	12,086,640	692,576	12,779,216
	職員給与	1,440,480	0	1,440,480
	退職金	0	0	0
	福利厚生費	210,724	0	210,724
	旅費交通費	1,792,700	14,000	1,806,700

通信運搬費	694,256	0	694,256
消耗品費	29,120	0	29,120
印刷製本費	6,607,353	493,884	7,101,237
印刷物購入費	0	32,400	32,400
会場借上等費	189,960	106,292	296,252
諸謝金	942,400	46,000	988,400
雑費	179,647	0	179,647
広報活動費	968,877	1,800,715	2,769,592
職員給与	0	676,912	676,912
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	375,520	873,823	1,249,343
通信運搬費	51,250	0	51,250
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	451,305	152,160	603,465
会場借上費	90,802	67,820	158,622
諸謝金	0	30,000	30,000
雑費	0	0	0
賃借料	0	0	0
広告宣伝費	402,400	500,720	903,120
協賛金	1,160,000	572,000	1,732,000
助成金	2,400,000	700,000	3,100,000
② 管理費	(17,668,395)	(32,049,893)	(49,718,288)
職員給与	4,067,420	6,861,750	10,929,170
臨時雇用賃金	0	0	0
退職給与引当金	285,841	302,880	588,721
福利厚生費	759,264	1,091,285	1,850,549
委託費	740,475	5,260,000	6,000,475
会議費	2,966,272	6,302,358	9,268,630
旅費交通費	554,550	3,103,718	3,658,268
通信運搬費	455,106	1,256,915	1,712,021
消耗品費	361,082	596,765	957,847
消耗什器備品費	0	289,086	289,086
保守費（I T関係）	878,904	0	878,904
印刷製本費	253,292	357,149	610,441
水道光熱費	445,347	0	445,347
諸謝金	324,000	1,400,000	1,724,000
賃借料	4,770,990	3,070,163	7,841,153
租税公課	70,000	81,000	151,000
諸会費	90,500	319,500	410,000
交際費	0	0	0
雑費	645,352	1,757,324	2,402,676
③内部取引	(0)	(0)	(0)
事業活動支出計	59,074,084	45,146,604	104,220,688
事業活動収支差額	5,578,086	△ 1,241,698	4,336,388
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
2 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	5,578,086	△ 1,241,698	4,336,388
前期繰越収支差額	1,182,117	21,420,637	22,602,754
次期繰越収支差額	6,760,203	20,178,939	26,939,142

平成30年6月4日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会 長 辻 裕 殿

一般社団法人斜面防災対策技術協会

監 事 木 村 勲 

監 事 長 田 俊 明 

監 査 報 告 書

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

府 益担第 1 4 3 9 号

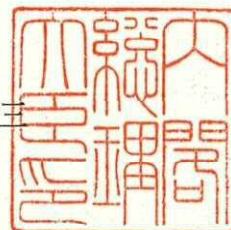
平成 2 9 年 1 2 月 7 日

一般社団法人斜面防災対策技術協会

代表者 奥山 和彦 殿

内閣総理大臣

安倍 晋三



公益目的支出計画の実施完了の確認書

貴法人から平成 2 9 年 9 月 1 1 日付けでされた、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成 1 8 年法律第 5 0 号）第 1 2 4 条の規定に基づく公益目的支出計画の実施が完了したことの確認の請求について、公益目的支出計画の実施が下記の日に完了したことを確認します。

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

第2号議案 役員選任の件

役 員 選 任 （ 案 ）

現 任 員 （ 役 職：現時点 ）				
役 職	氏 名	職 歴	備 考	
会 長	辻 裕	国土防災技術(株) 代表取締役社長		
副 会 長	近藤 浩一	(一財) 砂防・地すべり技術センター 相談役		
	原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部	
専 務 理 事	杉浦 信男	(一社) 斜面防災対策技術協会		
理 事	小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部	
	熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部	
	滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部営業企画部統括部長	関東支部	
	野澤英之助	(株)興和 代表取締役副社長	新潟支部	
	田中洋一郎	ダイチ(株) 代表取締役	富山支部	
	尾蔵 博	(株)ホクコク地水 代表取締役社長	石川支部	
	戸谷 勝彦	日本総合建設(株) 理事	長野支部	
	土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部	
	浅野 敬文	イビデングリーンテック(株) 常務取締役	東海支部	
	谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部	
	谷本 尚威	(株)エイト日本技術開発 中国支社 理事	中国支部	
	永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部	
	竹原 哲郎	日本工営(株) 国土保全事業部長		
	山川 雅弘	明治コンサルタント(株) 相談役		
	若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長		
	木村 温	技研興業(株) 代表取締役		
	長田 俊明	国際航業(株) 東日本支社担当部長		

選 任 （ 案 ）				
役 職		氏 名	職 歴	備 考
理 事		辻 裕	国土防災技術(株) 代表取締役社長	
		近藤 浩一	(一財) 砂防・地すべり技術センター 相談役	
		原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部
		杉浦 信男	(一社) 斜面防災対策技術協会	
		小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部
		熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部
		滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部技術部長	関東支部
		野澤英之助	(株)興和 取締役副社長	新潟支部
		田中洋一郎	ダイチ(株) 代表取締役	富山支部
		尾蔵 博	(株)ホクコク地水 代表取締役社長	石川支部
		戸谷 勝彦	日本総合建設(株) 理事兼松本支店長	長野支部
		土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部
	新任	熊谷栄治郎	イビデングリーンテック(株) 取締役法面事業本部長	東海支部
		谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部
	新任	岩本 方克	(株)エイト日本技術開発 取締役常務執行役員 中国支社長	中国支部
		永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部
	新任	鈴木 滋	日本工営(株) 国土保全事業部長	
		山川 雅弘	明治コンサルタント(株) 相談役	
		若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長	
監 事	新任	石川 芳治	東京農工大学 名誉教授	
		長田 俊明	国際航業(株) 東日本支社担当部長	

(報告事項)

第1号報告 平成29年度事業報告について

平成29年度事業報告

定例の総会・理事会並びに登録地すべり防止工事試験、地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）、技術フォーラムを予定通り開催すると共に、斜面防災対策技術の開発、普及、啓発事業等に関して各委員会活動を含む協会活動を積極的に行った。

本年度は昨年度に発行された「斜面对策工維持管理実施要領」の販売とその普及を目指し、全国6会場で講習会を実施し、販売状況は3月末で残部134部までとなった。現在、積算歩掛編の編集作業を精力的に行なっており、30年度中盤には発行の予定であり、当協会の成果が発注に反映されることが期待される。

一方、会員数の増強を掲げて積極的な入会勧誘活動を展開した結果、正会員6社、賛助会員4社の入会があったが、年度末に正会員3社、賛助会員1社の退会申請があり、協会活動を通じて会員のメリットを明確にして魅力ある協会にしていく必要がある。

本年度は協会代表の改選時であったことから、国土防災技術株式会社代表取締役社長の辻 裕氏が会長に、（一財）砂防地すべり技術センター相談役の近藤浩一氏が副会長（留任）に、日本建設技術株式会社代表取締役社長の原 裕氏が副会長に、理事の互選で選任された。

また、前会長の奥山ボーリング株式会社代表取締役会長の奥山和彦氏、新潟大学名誉教授の丸井英明氏が協会顧問に就任した。

1. 総会及び理事会関係

（1）総会

定時社員総会（第39回）

平成29年6月26日（月） 於：砂防会館別館「六甲」会議室

【審議事項】

- ①平成28年度収支決算承認の件
- ②役員選任の件

【報告事項】

- ①平成28年度事業報告について
- ②平成29年度事業計画及び収支予算書について

（2）理事会

第1回理事会（書面表決）

平成29年5月25日（木）

【審議事項】

- ①新入会員承認の件

第2回理事会（通常）

平成29年6月5日（月） 於：砂防会館別館「立山」会議室

【審議事項】

- ①平成28年度事業報告の件
- ②平成28年度収支決算の件
- ③平成29年度収支予算変更の件
- ④賛助会員入会の件
- ⑤役員人事（案）の件
- ⑥平成29年度定時社員総会招集の件

【報告事項】

- ①地すべり防止工事士関連について
- ②協会出版事業について
- ③斜面防災対策技術フォーラムについて
- ④地すべり防止工事士活用状況調査について
- ⑤その他

第3回理事会（通常）

平成29年6月26日（月） 於：砂防会館別館「六甲」会議室

【審議事項】

- ①会長、副会長及び専務理事選任の件
- ②顧問選任の件

第4回理事会（書面表決）

平成29年9月22日（金）

【審議事項】

- ① 賛助会員入会承認の件

第5回理事会（通常）

平成29年10月11日（水） 於：新潟市日航新潟会議室「孔雀」

【審議事項】

- ①会員入会の件
- ②人事案件
- ③技術フォーラム平成30年度開催地の件
- ④入会勧誘努力に対する報償の件

【報告事項】

- ①第20回斜面防災対策技術フォーラム'17 in 新潟について
- ②「斜面对策工維持管理実施要領」について
- ③平成29年度登録地すべり防止工事（一次）試験について
- ④平成29年度登録地すべり防止工事士技術講習（更新講習）について
- ⑤地すべり防止工事士活用状況調査について
- ⑥公益目的支出計画完了報告について
- ⑦その他

第6回理事会（通常）

平成29年3月28日（水）開催 於：砂防会館別館「立山」会議室

【審議事項】

- ①平成29年度事業報告（案）の件
- ②平成29年度本部収支決算見込みの件
- ③平成30年度事業計画（案）の件
- ④平成30年度収支予算（案）の件
- ⑤規程の件
- ⑥協会創立40周年記念の件

【報告事項】

- ①登録地すべり防止工事試験ならびに技術（更新）講習会について
- ②「斜面对策工維持管理実施要領」の販売状況について

- ③技術フォーラムについて
- ④地すべり防止工事士について
- ⑤その他

(3) 会員数

会員各位の努力によって、本年度は6社と入会があったが、年度末に3社から退会の申請があった。

- ・正会員数 225会員 (28年度末 222会員)
(新入会6会員：弘和産業(株)・東興ジオテック(株)・(株)森産業(有)大成工業・(株)西建設・保安工業(株))
(退会3社：(株)テクノ長谷・伊藤建設(株)・ひだ緑化土木(株))
- ・賛助会員数 18会員 (28年度末 15会員)
(新入会4会員：岡部(株)・ブイ・エス・エル・ジャパン(株)吉佳エンジニアリング(株)・(株)ミサキ)
(退会1社：日本無線(株))

本年度から入会員の所在支部に対し、入会年度限り正会員1社につき10万円、賛助会員1社につき5万円を活動助成することとなった。

2. 試験関係

(1) 登録地すべり防止工事試験

一次試験(筆記)

平成29年6月17日(土)に札幌、仙台、東京、新潟、富山、金沢、長野、静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の13都市で実施した。

実受験者 210名 合格者 65名(合格率31.0%)

二次試験(面接)

平成29年9月9日(土)神戸、9月23日(土)東京、9月30日(土)福岡で実施した。

実受験者 77名 合格者 61名(合格率79.2%)

過去問題集(平成19年度から28年度)を発行した。

(2) 技術講習会(更新講習)

平成24年度登録者及び平成27・28年度未受講者を対象として、全支部の13会場で実施した。講習テーマは「地震と地すべり」もしくは「地域の斜面災害」ならびに「斜面对策工維持管理実施要領の説明」とし、各会場の講師は以下のとおりである。

全受講者 663名

- 札幌会場 7月14日(金) 札幌エルプラザ
(講師) (株)ドーコン 技術顧問 田近 淳
明治コンサルタント(株) 清水 順二
- 仙台会場 8月5日(土) ハーネル仙台
(講師) 奥山ボーリング(株)顧問 阿部 真郎
国土防災技術(株) 榎田 充哉
- 東京会場 8月5日(土) AP浜松町

(講師)	東京農工大学 名誉教授	石川 芳治
	川崎地質 (株)	沼宮内 信
○新潟会場	7月29日 (土) 興和ビル	
(講師)	新潟大学 教授	福岡 浩
	明治コンサルタント (株)	滝口 潤
○富山会場	7月22日 (土) 富山県県民会館	
(講師)	富山県立大 講師	古谷 元
	(株) 村尾地研	村尾 英彦
○石川会場	7月29日 (土) 石川県地場産業振興センター	
(講師)	富山県立大 講師	古谷 元
	総合地質コンサルタント (株)	岡田 芳一
○長野会場	7月25日 (火) ホテル国際21	
(講師)	信州大学 教授	平松 晋也
	(株) 興和	丸山 正記
○静岡会場	7月22日 (土) 静岡市産学交流センター	
(講師)	静岡大学 教授	土屋 智
	国土防災技術 (株)	高島 誠
○名古屋会場	8月5日 (土) 名古屋港湾会館	
(講師)	静岡大学 教授	土屋 智
	日本工営 (株)	井上 宏
○大阪会場	7月18日 (火) 三宮グラウンドビル	
(講師)	京都大学 教授	松浦 純生
	(株) キタック	伊藤 克己
○岡山会場	7月22日 (土) ピュアリティまきび	
(講師)	鳥取大学 名誉教授	藤村 尚
	(株) 相愛	市橋 義治
○高松会場	7月19日 (水) サン・メッセ香川	
(講師)	高知大学 教授	笹原 克夫
	日本工営 (株)	浦 元啓
○福岡会場	7月29日 (土) 福岡県中小企業振興センター	
(講師)	鹿児島大学 教授	地頭蘭 隆
	国土防災技術 (株)	榎田 充哉

(3) 地すべり防止工事士マイスター制度

昨年度、地すべり防止工事士資格制度開始から30年以上経過したことから、経験豊富な地すべり防止工事士（65歳以上で更新5回以上）に対し後進の育成等での活躍を期し地すべり防止工事士マイスター制度を設立し、本年度から施行した。

本年度は広報不足のためか、6名の登録にとどまった。

3. 研修関係

(1) 平成29年度地すべり防止技術研修

(一財) 全国建設研修センターとの共催で国土交通省等の後援を得て実施した。研修講師は当協会から派遣し、教材等についても講師が作成したものを利用した。

平成29年5月9日 (火) から12日 (金) までの4日間

現地研修は群馬県譲原地区地すべり対策事業（直轄）の現場

受講者数 25名

（２）研修テキストの改訂

地すべり防止技術研修に用いられているテキストの改訂作業に入った。現在用いられているテキストは10年前に編集作成されたもので新しい技術、情報を盛り込んだものにする必要があり、30年度末の完成を目指す。

4. 総務・広報関係

（１）ホームページの活用

内容や活動を分かり易く表現すると共に、タイムリーな情報伝達に努めた。更に登録地すべり防止工事試験や技術講習会、技術フォーラムの申込をホームページ上で行うシステムを改良し、利用者の利便性を高めた。

（２）「斜面防災 News Letter」の発行

本年度は新年号を含め計4回発行した。協会の主行事等を機関誌とは異なった情報で会員に伝達する手段とした。

（３）地すべり防止工事士活用調査

会員企業に対し、地すべり防止工事士がどのように活用されているか受注案件について調査を実施した。

資格が受注条件となっている都道府県は業務で6県、工事で7県と、まだまだ活用されているのは限定的であった。

今後も調査は継続し、陳情等の資料として蓄積していく。

（４）情報セキュリティ対策

職員の意識の高揚を持続させると共に、今後の対応について専門家の意見を聴収した。また、情報セキュリティを向上させるためアプリケーションのバージョンアップやファイアウォールの更新を実施した。

5. 技術関係

（１）第20回「斜面防災対策技術フォーラム'17in新潟」を開催

平成29年10月12日（木） 朱鷺メッセ（新潟市）

特別講演Ⅰ 金桶 光起氏（新潟県醸造試験場場長）

演 題 「新潟清酒の特徴と乳酸菌醗酵酒粕」

特別講演Ⅱ 丸井 英明氏（新潟大学名誉教授）

演 題 「中越地震に起因する斜面災害が提起した課題と教訓」

技術発表 発表編数 30編

参加者 275名

技術発表の最優秀発表者として佐々木拓也氏（日本工営㈱）、堀万葉香氏（㈱村尾技建）、福士拓哉氏（㈱興和）の3氏が、優秀発表者として竹田知史氏（㈱日さく）、畦地総太郎氏（中部地質㈱）、菊地雅哉氏（国土防災技術北海道㈱）、加藤佑樹氏（弘和産業㈱）、西本尊氏（㈱エスイー）、遠藤雄二治氏（㈱キタック）の6氏が表彰された。

技術フォーラム翌日の現地見学会は、平成16年10月発生の中越地震被災地復興現場で実施され、参加者は30名であった。

（2）「斜面对策工維持管理実施要領」関連

「斜面对策工維持管理実施要領」を前年度末に発行し、広報、販売に努めた。その結果、30年3月末の販売数は708部（初版の販売部数は842部、贈呈158部）で残部は134部となっている。

「斜面对策工維持管理実施要領」が広く利用されるよう説明会を6会場で開催した。

現在、「地すべり維持管理マニュアル編集出版委員会」と「積算・歩掛委員会」が積算・歩掛編の編集作業を実施しており、30年度中盤に発行予定である。

6. 編集関係

会誌「斜面防災技術」の第129号～第131号を発刊した。

本部と支部編集委員による合同編集会議（平成29年4月14日）を開催し、支部関係の情報収集を密にできるよう意見交換を実施した。

座談会を東北支部（5月15日）及び岐阜県（9月6日）で開催した。

第129号から表紙デザインを変更した。

7. 支部活動

13支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施した。

- ・ 各支部での、登録地すべり防止工事試験並びに地すべり防止工事士技術講習の運営・開催
- ・ 各支部での、発注者に対する広報・要望活動
- ・ 各支部での、斜面防災対策技術者の技術向上のための講習会、研修会、見学会等の開催
- ・ 新潟支部での「斜面防災技術フォーラム」の運営・開催
- ・ 東北支部での支部協会誌「山が動く」の発刊

8. 全国事務局長会議

平成30年2月1日（木）長野市において全国事務局長会議を開催し、協会運営に関する諸事項の協議と各事務局間での意思疎通を図った。

9. 他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成した。

- ・ 土砂災害防止月間（６月１日～３０日）
- ・ （公社）日本地すべり学会シンポジウム
- ・ （公社）砂防学会シンポジウム
- ・ 雪崩防災シンポジウム
- ・ 砂防図書館の共同運営事業
- ・ 砂防ボランティア基金
- ・ 地すべり防止工事士会

以 上

(報告事項)

第2号報告 平成30年度事業計画及び収支予算書について

平成30年度事業計画

1. 総会、理事会及び要望活動関係

- (1) 第40回定時社員総会を平成29年6月26日（火）砂防会館別館にて開催する。
- (2) 理事会は、年3回（平成30年6月11日（月）東京、10月10日（水）神戸、平成31年3月末（未定）東京で開催する。
- (3) 以下の事業を重点課題として、協会の強化及び活性化を図る。
 - ①地すべり事業費の確保
 - ②会員を増やすための活動
 - ③地すべり防止工事士の増大
 - ④協会出版物の活用促進と販売促進の活動
 - ⑤会員の技術力向上のための活動
- (4) 当協会会員の活用及び「地すべり防止工事士」の活用を図るための要望活動を積極的に行う。
- (5) 災害協定の締結および大規模災害への関与に関して、支部・本部一体となって活動に取り組む。
- (6) 本年度は協会創立40周年となることから創立記念日に対象者を表彰する。

2. 試験関係

登録地すべり防止工事試験及び技術講習会を以下のとおり実施する。

(1) 登録地すべり防止工事試験

①一次試験

平成30年6月16日（土）に全国13都市で開催する。

②二次試験

3会場に絞って実施する。

平成30年9月15日（土）神戸市、9月22日（土）東京都、9月29日（土）福岡市

(2) 技術講習会

平成25年度登録者及び平成28・29年度未受講者を対象として全国13都市で7月から8月にかけて実施する。

地すべり工事士マイスター制度の広報に努め、工事士登録の減少を図る。

※受講対象者は約800名

3. 研修関係

- (1) 平成30年度地すべり防止技術研修を（一財）全国建設研修センターと共催、国土交通省等の後援を得て、平成30年5月8日（火）から11日（金）までの4日間に実施する。定員40名。
- (2) 現在使用している研修テキストは平成20年度に改訂されたもので、新しい技術や写真、図表を取り入れたテキストに改訂する。

4. 総務・広報関係

- (1) 協会ホームページの内容を充実させ、協会を広くアピールするための広報活動を強化すると共に、会員への有益なツールに発展させる。
- (2) 「斜面防災 News Letter」を継続的に発行して会員への情報提供を行う。
- (3) 「地すべり防止工事士」等の広報資料（パンフ等）を適宜改訂し関係機関に提供できるようにする。
- (4) 地すべり防止工事士の活用状況を協会内で調査し、要望活動の資料を作成する。
- (5) 事務局内のセキュリティ機能を向上させるべく、常に専門家の意見を聴収し、最善の対応を図る。

5. 技術関係

- (1) 第21回「斜面防災対策技術フォーラム'18」を神戸市において開催する。
平成30年10月11日（木）10:00～17:45
 - ・特別講演 2題
 - ・技術発表 発表編数30編
 - ・現地研修（10月12日（金）8:30～ 亀の瀬地すべり）
- (2) 災害対応支援体制及び対応技術力の向上等に関する事項を確立させる。
- (3) 積算・歩掛に関し、適切な積算体系の検討や資料収集・整理に関する事項を確立させる。
- (4) 「斜面对策工維持管理実施要領」の積算歩掛編を発行する。
- (5) 全国治水砂防協会の「新・斜面崩壊防止工事の設計と実例」改訂委員会に協会として参画する。
- (6) 研修テキストの改訂版を作成する。
- (7) CPD（継続教育）制度を充実させる。

6. 編集関係

- (1) 会誌「斜面防災技術」第132～134号を発刊する。
- (2) 会誌「斜面防災技術」編集のため、本部と支部編集委員による合同編集会議を4月13日（金）に開催し、本部と支部の意思疎通を図る。
- (3) 座談会を2回開催する。

7. 全国事務局長会議

平成30年度の全国事務局長会議を富山支部管内で開催し、事務局相互の意思疎通を図る。

8. 他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成する。

- (1) 土砂災害防止月間
- (2) （公社）日本地すべり学会シンポジウム

- (3) (公社) 砂防学会シンポジウム
- (4) 雪崩防災シンポジウム
- (5) 砂防図書館の共同運営事業
- (6) 砂防ボランティア基金
- (7) 全国地すべり防止工事士会 等

9. 各支部の活動

1 3 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施する。

- (1) 全支部において、本部又は他支部と連動した会員確保活動、講習会・研修会の開催、その他諸活動を実施し、支部の活性化ならびに支部運営の健全化を図る。また、会員への有益な情報提供活動を充実させる。
- (2) (公社) 日本地すべり学会等、関係団体との連携又は活動支援を行う。
- (3) 「斜面对策工維持管理実施要領」の活用と販売拡大を図る。
- (4) 発注者に対して、積極的な要望活動を行う。

以上

平成30年度収支予算(案)

(単位:円)

科 目	本 部		支 部		全 体	
	30年度予算	29年度予算	30年度予算	29年度予算	30年度予算	29年度予算
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 経常収益						
① 入会金収入	(600,000)	(600,000)	(0)	(100,000)	(600,000)	(700,000)
② 会費収入	(33,610,000)	(33,130,000)	(34,520,000)	(33,160,000)	(68,130,000)	(66,290,000)
③ 事業収入	(24,930,000)	(28,970,000)	(4,941,500)	(5,445,930)	(29,871,500)	(34,415,930)
印刷物頒布収入	5,400,000	7,870,000	1,500	65,930	5,401,500	7,935,930
試験等事業収入	17,700,000	19,800,000	770,000	760,000	18,470,000	20,560,000
技術フォーラム参加収入	1,830,000	1,300,000	50,000	0	1,880,000	1,300,000
業務委託	0		4,120,000		4,120,000	0
④ その他収入	(800,000)	(800,000)	(2,654,957)	(2,551,048)	(3,454,957)	(3,351,048)
事業活動収入計	59,940,000	63,500,000	42,116,457	41,256,978	102,056,457	104,756,978
2 事業活動支出						
① 事業費支出	(42,080,000)	(43,500,000)	(15,958,240)	(14,780,400)	(58,038,240)	(58,280,400)
技術開発研究費	900,000	1,400,000	8,225,000	7,938,000	9,125,000	9,338,000
試験等事業費	16,500,000	17,000,000	1,205,000	1,300,000	17,705,000	18,300,000
技術フォーラム事業費	6,600,000	7,500,000	180,000	185,000	6,780,000	7,685,000
出版事業費	13,600,000	12,800,000	550,000	595,000	14,150,000	13,395,000
広報活動費	600,000	1,500,000	3,417,640	2,265,000	4,017,640	3,765,000
支部活動費	1,600,000	1,300,000	100,000	200,000	1,700,000	1,500,000
広告宣伝費	430,000	450,000	592,600	609,400	1,022,600	1,059,400
協賛金	1,550,000	1,250,000	788,000	738,000	2,338,000	1,988,000
助成金	300,000	300,000	900,000	950,000	1,200,000	1,250,000
② 管理費	(19,983,000)	(17,240,000)	(33,744,000)	(33,162,000)	(53,727,000)	(50,402,000)
職員給与	3,900,000	3,850,000	7,540,000	7,540,000	11,440,000	11,390,000
臨時雇用賃金	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金	0	0	300,000	300,000	300,000	300,000
福利厚生費	650,000	670,000	1,260,000	1,210,000	1,910,000	1,880,000
委託費	3,580,000	330,000	5,260,000	5,210,000	8,840,000	5,540,000
会議費	3,000,000	3,100,000	6,975,000	6,550,000	9,975,000	9,650,000
旅費交通費	500,000	650,000	3,670,000	3,107,000	4,170,000	3,757,000
通信運搬費	400,000	600,000	1,352,000	1,433,000	1,752,000	2,033,000
消耗品費	350,000	450,000	595,000	678,000	945,000	1,128,000
消耗什器備品費	50,000	50,000	215,000	213,000	265,000	263,000
保守費(IT関連)	500,000	850,000	0	0	500,000	850,000
印刷製本費	250,000	500,000	529,000	587,000	779,000	1,087,000
水道光熱費	450,000	450,000	0	0	450,000	450,000
諸謝金	330,000	330,000	1,400,000	1,800,000	1,730,000	2,130,000
賃借料	5,043,000	4,730,000	3,200,000	3,125,000	8,243,000	7,855,000
租税公課	80,000	80,000	90,000	100,000	170,000	180,000
諸会費	100,000	100,000	311,000	316,000	411,000	416,000
交際費	0	0	120,000	100,000	120,000	100,000
雑費	800,000	500,000	927,000	893,000	1,727,000	1,393,000
事業活動支出計	62,063,000	60,740,000	49,702,240	47,942,400	111,765,240	108,682,400
事業活動収支差額	△ 2,123,000	2,760,000	△ 7,585,783	△ 6,685,422	△ 9,708,783	△ 3,925,422
II 投資活動収支の部						
1 投資活動収入						
2 投資活動支出						
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部						
1 財務活動収入						
2 財務活動支出						
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 2,123,000	2,760,000	△ 7,585,783	△ 6,685,422	△ 9,708,783	△ 3,925,422
前期繰越収支差額	6,760,203	1,182,117	20,178,939	21,420,637	26,939,142	22,602,754
次期繰越収支差額	4,637,203	3,942,117	12,593,156	14,735,215	17,230,359	18,677,332

29年度前期繰越は28年度決算値(次期繰越)を入力

30年度前期繰越は29年度決算値(次期繰越)を入力

一般社団法人 斜面防災対策技術協会
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 北海道支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東北支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関東支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 新潟支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 富山支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 石川支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 長野支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 静岡支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東海支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関西支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 中国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 九州支部